

パンジーの花を お届け



玉川小学校の環境委員会の児童8名が、井上駐在所にパンジーの花をお届けしました。他にも「110番の家」や「子どもを守るボランティア」、「行方地域総合病院」、「井上郵便局」など、広く地元の方々に配り、喜ばれています。玉川小学校の児童は、花の種まきから水まき、草抜きを、1年生から6年生の縦割り班で行っています。また、年間をとおして、日曜日には親子ボランティアの皆さんが支援しています。このような活動の中心を担っているのが、この環境委員会です。全校児童の努力が実り、今年度の花いっぱい運動では、県の優秀賞である「茨城新聞社長賞」を受賞しました。



行方市男女共同参画

「行方市男女共同参画講演会」が3月4日(日)、麻生公民館において開催されました。声優の増岡弘氏を講師に迎え、「マスオ流男女共同参画の話」をテーマに、講演いただきました。

アニメ「サザエさん」のマスオさんや「アンパンマン」のジャムおじさんの声の披露から始まり、昔の家族と自分のあり方、母親への思いなどを楽しく、またはしみりとお話しされました。家庭の基本は夫婦が仲良くすることで、「お風呂で背中を流してあげていますか?」との質問もありました。

参加者の中からも、「楽しかった」「言葉は大切なもの、相手を思いやる気持ちを持ち続けたい」「継続して開催してもらいたい」との意見がありました。

男女共同参画 講演会

茨城県障害者美術展 書道の部 最優秀賞受賞



第10回 茨城県障害者美術展

2月9日、茨城県総合福祉会館で、「第10回茨城県障害者美術展」の表彰式が開催され、行方市玉造の石毛和之さん(行方市身体障害者福祉協議会副会長)が、書道部門の最優秀賞を受賞されました。この美術展は、障害のある方々の文化活動の促進と、県民理解の啓発を目的に、毎年開催されているものです。部門には絵画、書道、写真、造形、工芸があり、応募作品総数は351点。その中で市内在住の方の作品は、28点出品されました。



高齢者に温かいまちでありたい。そんな願いで給食サービスをやっているボランティア団体「すみれ会」(真家幸江会長)。「すみれ会」は、平成6年に発足し、現在会員12名で、玉川地区の独居老人への給食サービスを年6回程、行っています。会員は、玉川地区の主婦。材料の野菜類や米は会員が持ち込みで、季節感を出すことを心掛け、献立がマンネリ化しないよう、食材選びにも余念がありません。お弁当は午前9時頃から作り始め、お昼前には、温かいうちに年寄りの手元に届きます。配達することで、お年寄りの安否確認も行えます。

真家会長は「娘の手料理と思って食べていただけるよう、心を込めて作っています。また、弁当の包み紙給食紙をつけており、みなさんにとても喜ばれています」とお話しくださいました。

手作りのおもてなし